



## 少年の主張 小泉中生大活躍

校長 小木曾敏樹

少年の主張大会の各小学校区での発表会(地区予選)が、6日(土)には、池田小学校区、小泉中学校区で開催され、14日(日)には根本小学校区で開催されました。3地区で9名の小泉中代表が参加し発表をしました。

その結果、池田小学校区で小泉中3年加藤真絢さんが、小泉小学校区では小泉中(当たり前ですが)3年阪達也さんが、最優秀賞に選ばれ、6月27日(土)に開催される多治見市大会「わたしの主張 2015」に出場することになりました。

根本小学校区の大会では、惜しくも最優秀賞は逃しましたが、出場した三島宏太さんと山内希実さんが優秀賞に選ばれました。つまり、小泉中の2人が2位3位に入選したということです。

9人のうち、誰が選ばれてもおかしくないほど、9人の発表は素晴らしいものでした。内容はもちろんですが、他校を圧倒したのはその表現力です。暗記して話すのは勿論のこと、話しかけるように語りかけるように、一つ一つの言葉にも表情がありました。そして、手や物でのパフォーマンスもあり、そして、笑顔がありました。会場の人を一人一人見つめるような視線も素晴らしかった。本当に感動に値する主張でした。

私は3つの会場に行き、9人の主張を聞きました。勿論、平和中学校(池田小校区)、北陵中学校、南姫中学校(根本小校区)の生徒たちも素晴らしかったのですが、結果が表しているように小泉中の生徒たちの主張は本当に素晴らしかったと思います。



## 大人も学べる主張だった

はじめは誰の主張が素晴らしいかという「審査」をしながら聞いていたのですが、そのうちに、生徒たちの主張に教えられ、自分自身を振り返って、反省したり、納得したり、自分の生活に生かそうとしたりしている自分がいることに気がきました。

そうです。私が自分自身を振り返ってしまうほど説得力のある主張だったということです。

生徒たちの主張は、おかしいことはおかしいと、正しいことは正しいと判断し、少しでも人のため社会のためになろうという「ピュアな心の主張」が言葉になっています。「そんなこと無理だ。」「なかなか変えられないよ。」「ずっとこうしてきたから。」とついつい大人は思ってしまう。しかし、私たち大人が勝手にそう決めつ

けているだけで、実は、もしかしたら、生徒たちの「ピュアな心の主張」の方が正しく、実現できるのかもしれないと思えてくるのです。

私たちが手に入れた人生の経験という財産は、生きていくためにはプラスであり大切なことなのですが、同時に、何か大切なものを失いながら手に入れてきたものなのかもしれません。

もう一度、大切なものを取り戻しに、6月27日(土)午後1時パロー文化ホールに行きませんか。



## 池田小学校区少年の主張大会

加藤真絢さん 「勇気を出して伝えよう」  
伊藤羽音さん 「地域のほこり、日本のほこり」

司会 山下西紀さん、加藤聡太さん

池田小学校区は加藤真絢さんが最優秀賞で、市大会出場者に選ばれました。伊藤羽音さんは優秀賞でした。

## 小泉小学校区少年の主張大会

杉森優月さん 「私の思う医療とは」  
新井里歩さん 「私にできること、できないこと」  
吉竹萌花さん 「世界はもっと広いよね」  
池庭大翔さん 「戦後七十年、変わろうとする日本」  
阪 達也さん 「さあ、もっと笑いましょう」

司会 友田宇海さん、丹羽麗さん、丸山士帆里さん

小泉小学校区は、阪達也さんが最優秀賞で、市大会出場者に選ばれました。杉森さん、新井さん、吉竹さん、池庭さんは優秀賞でした。

## 根本小学校区少年の主張大会

三島宏太さん 「笑顔にするための秘密」  
山内希実さん 「挨拶がもたらすもの」

根本小学校区は南姫中の生徒さんが最優秀賞で、市大会出場者に選ばれました。三島宏太さん、山内希実さんの2名のみが6人の中で優秀賞に選ばれました。

## 多治見市大会 わたしの主張 2015

6月27日(土) 午後1時より パロー文化センター

小泉中3年加藤真絢さん、小泉中3年阪達也さんが東濃大会を目指して頑張ります。

司会は 小泉中3年 丹羽麗さん、丸山士帆里さん が務めてくれます

司会を務めてくれた山下西紀さん、加藤聡太さん、友田宇海さん、丹羽麗さん、丸山士帆里さん、とても上手に進行してくれました。そして、吹奏楽クラブの皆さん、素敵な演奏をありがとう。